

平成26年行政事業レビューシート

(復興庁)

事業名	青年等就農資金利子補給金		担当部局庁	復興庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度 ~ (未定)		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	政策:復興施策の推進 施策:東日本大震災からの復興に係る施策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	農業経営基盤強化促進法 第14条の6第1項及び14条の9第1項		関係する計画、通知等	農業経営基盤強化促進法施行令第4条 青年等就農資金基本要綱				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災で被災した新たに農業経営を営もうとする青年等が行う復旧・復興のための取組を支援するため、青年等就農資金について無利子で日本政策金融公庫が貸し付けるための利子補給金を交付することにより、被災農業者等が必要とする資金の融通を円滑にする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日本政策金融公庫が東日本大震災で被災した新たに農業経営を営もうとする青年等に対して、農業経営の開始に不可欠な機械・施設の購入等を行う際に無利子で貸し付ける青年等就農資金について、利子補給金を交付。 補助率等:定額							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	1	3	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計		-	-	-	1	3	
	執行額		-	-	-	-	-	
執行率(%)		-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)
	本事業による農業関連の復興投資		成果実績	億円	-	-	-	-
			目標値	億円	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	融資残高		活動実績	億円	-	-	-	-
			当初見込み	億円	-	-	-	1
単位当たりコスト	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	融資平均残高100万円当たりの利子補給金 利子補給実績額÷融資平均残高×100万円		単位当たりコスト		-	-	-	-
			計算式	/	-	-	-	-
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	青年等就農資金利子補給金	1	3	過年度融資分による後年度負担額の増				
計	1	3						

事業所管部局による点検・改善						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	被災地において、被害を受けた新規就農者が復興に取り組むための支援を行うことは国が行う事業として優先度の高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	単位当たりのコストについては、実行金利の推移に左右されるため、その水準の妥当性は評価になじまない。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検・改善結果	点検結果	【国費投入の必要性】 本事業は被災農業者への円滑な資金融通のため、国の予算で行う必要があるものである。				
	改善の方向性	引き続き適正な執行に努める。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-	被災農業者等が必要とする資金の融通を円滑にすることを目的とした復興に資する必要性の高い事業である。引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。なお、震災発生直後と比較した状況の変化を踏まえ、事業の終期について検討を行うこと。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-	引き続き効率的・効果的な予算の執行に努める。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成23年	-	平成24年	-	平成25年	-

復興庁



農林水産省



A. 株式会社日本政策金融公庫

〔 青年等就農資金を無利子  
で貸付けた際の利子補給  
金を交付。 〕

資金の流れ  
(資金の受け取り  
先が何を行っている  
かについて補足  
する)(単位:百万  
円)